

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	湘南地域農業改良普及センター
44		
※記入不要		
要望問題		
地域にあったいちご品種の選定		
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】		
<p>現在、県内で栽培されているいちご品種は、「とちおとめ」は育苗や肥培管理が難しい、「さちのか」は収穫期が遅い、「章姫」は後半の果実の軟化が著しいなどの諸問題を抱えており、地域の気候や出荷形態などにあった品種の選定が求められている。</p> <p>また、現在農総研で育成中の「KNS98-1」「KNS98-4」については、現地の試作では試験成績に比べて収量が低いなど、特性が十分に発揮されておらず、その栽培方法の確立が求められている。</p> <p>「KNS98-1」「KNS98-4」については、現在現地で試作を行っていることから早急な対応が求められている。</p>		
JA湘南いちご部会 31名 337a		
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内	
研究対応区分	①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他	
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所(×) ②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場 ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所 (⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場) ⑨自然環境保全センター	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	生物資源部・生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合) かながわらしい特産品の開発
対応の内容等	<p>当所では課題「かながわらしい特産品の開発」の中で、イチゴの有望系統として「KNS98-1」及び「KNS98-4」の2系統を選抜し、昨年度から現地での試作を実施しています。ご指摘のとおり2系統については収量等に関して問題が指摘されており、15年度からこの点について重点的に検討を加えるべく当所生産技術部と共同して定植時期等栽培試験を実施する予定です。そのため、提案いただいた問題については上記課題で取り組み、15年度前倒しできるものについては前倒して実施することとします。</p> <p>なお、15年度試作をお願いしている生産者及び所管する普及センターには引き続き、ご協力をお願いします。</p>
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	